

岩見沢市こども計画策定のための

岩見沢市 こども・子育て一般市民調査

結果報告書

令和6(2024)年9月

目次

第1章 調査の目的等	1
1-1 調査の目的	1
1-2 調査の種類と実施方法	1
1-3 配布と回収状況	1
1-4 集計結果の表し方	1
第2章 集計結果	2
2-1 回答者の属性	2
(1) 性別	2
(2) 年齢	2
(3) お住まいの地域	3
2-2 子育てについて	4
(1) 子育て経験の有無	4
(2) 子育て関連の地域の人とのつながり	4
(3) 地域においての子育ての関わり	5
(4) 地域住民の子育ての関わり	5
(5) 子育てに関しての地域とのつながりの重要性	6
(6) 子育て支援の重点的な取り組み	7
第3章 自由意見	8

第1章 調査の目的等

1-1 調査の目的

岩見沢市では、令和2（2020）年度から令和6（2024）年度までを「第2期岩見沢市子ども・子育てプラン」を策定し、教育・保育・子育て支援の充実を進めてきました。

今回、令和7（2025）年度を初年度とする「岩見沢市こども計画」の策定に向けて、市民の皆さまの子ども・子育てに関する意識を把握したく、現状やご意見をお伺いし、今後の施策を検討するうえでの基礎的な資料とさせていただきますことを目的に、本調査を実施しました。

1-2 調査の種類と実施方法

調査の種類	対象者	調査方法
一般市民向け調査	全市民	市広報紙に調査案内を掲載 二次元バーコードを用いたWEBによる回収

【調査期間】令和6年8月1日～8月26日

【調査対象地区】市内全域

1-3 配布と回収状況

調査の種類	配布数	回収数	有効回収数
一般市民向け調査	35,400	423	423

1-4 集計結果の表し方

- 設問は単一回答、複数回答（例：当てはまるものすべてに○）の2種類があります。
- 単純集計の単一回答は円グラフ、複数回答は横棒グラフで表しています。
- 図表の数値は、各設問の無回答を含む回答者数に対する百分率（％）で表しています（一部、無回答が多い設問については回答者数で分母として算出）。
- 百分率は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問では、百分率の合計が100%を超えることがあります。
- 回答者数（n）が少ない項目については、比率で見るとは注意が必要です。

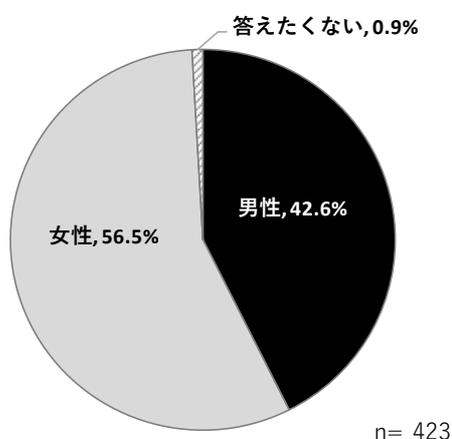
第2章 集計結果

2-1 回答者の属性

(1) 性別

問 1 あなたの性別は何ですか。(○は1つ)

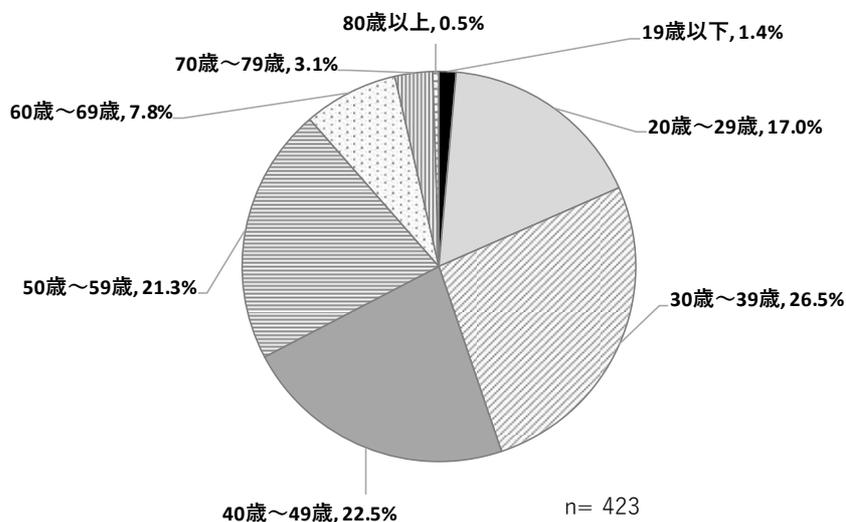
性別については、「男性」が42.6%、「女性」が56.5%となっています。



(2) 年齢

問 2 あなたの年齢はおいくつですか。(○は1つ)

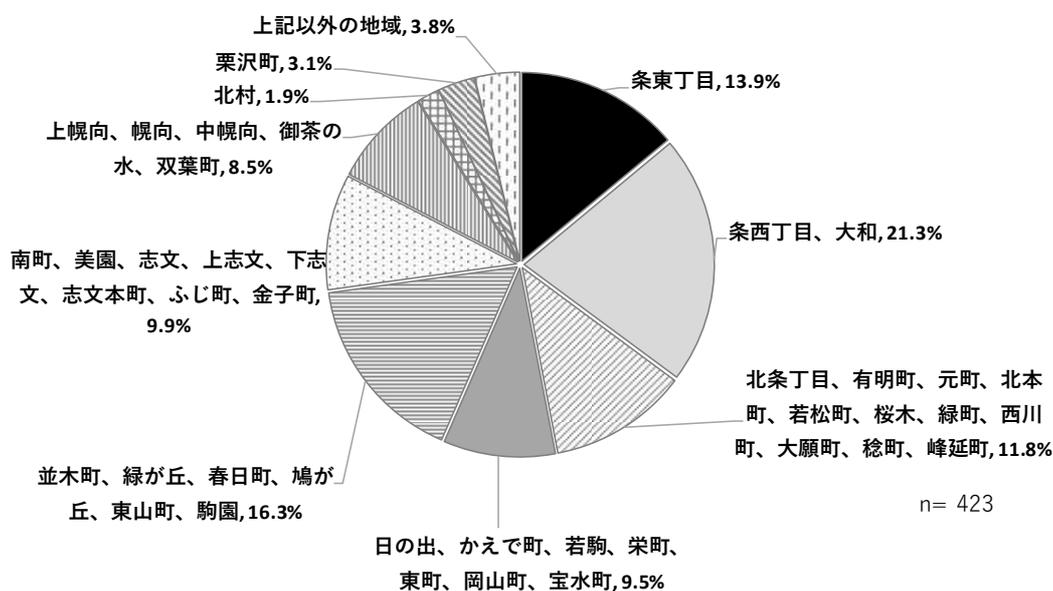
年齢については、「30歳～39歳」が26.5%と最も高く、次いで「40歳～49歳」(22.5%)、「50歳～59歳」(21.3%)となっています。



(3) お住まいの地域

問3 お住まいの地域はどちらですか。(○は1つ)

住まいの地域については、「条西丁目、大和」が21.3%と最も高く、次いで「並木町、緑が丘、春日町、鳩が丘、東山町、駒園」(16.3%)、「条東丁目」(13.9%)、「北条丁目、有明町、元町、北本町、若松町、桜木、緑町、西川町、大願町、稔町、峰延町」(11.8%)、「南町、美園、志文、上志文、下志文、志文本町、ふじ町、金子町」(9.9%)、「日の出、かえで町、若駒、栄町、東町、岡山町、宝水町」(9.5%)、上幌向、幌向、中幌向、御茶の水、双葉町」(8.5%)、「上記以外の地域」(3.8%)、「栗沢町」(3.1%)、「北村」(1.9%)と続いています。

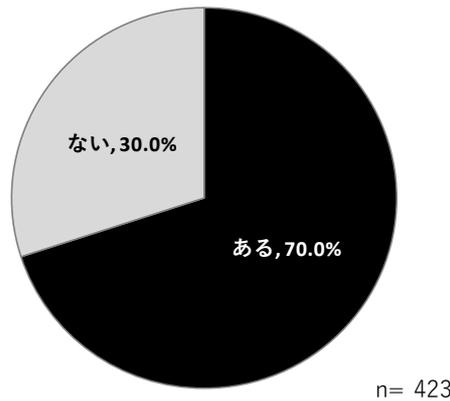


2-2 子育てについて

(1) 子育て経験の有無

問 4 あなたは、子育てをした経験がありますか。(○は1つ)

子育てをした経験があるかについては、「ある」が70.0%、「ない」が30.0%となっています。

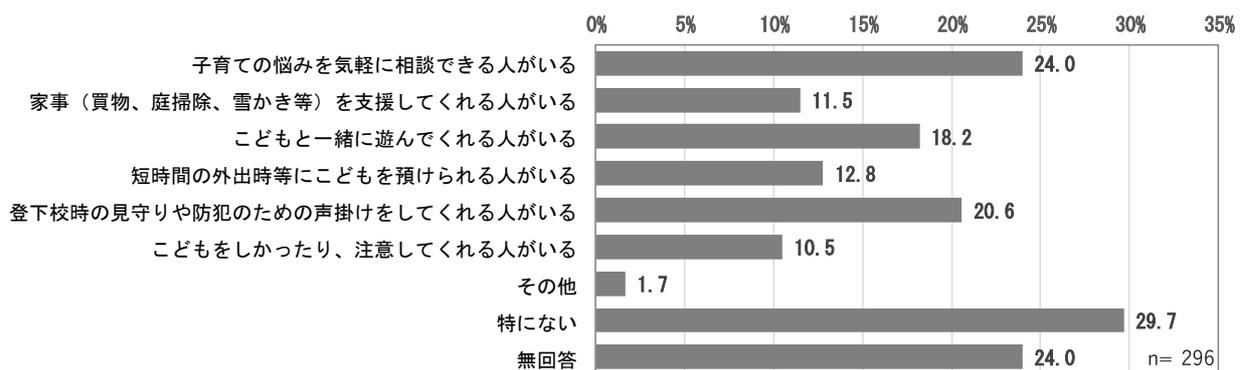


(2) 子育て関連の地域の人とのつながり

【問 4 で「1. ある」を選んだ方のうち、現在子育て中の方におうかがいします。】

問 5 あなたの住んでいる地域では、子ども・子育てに関連して地域の人とのつながりがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

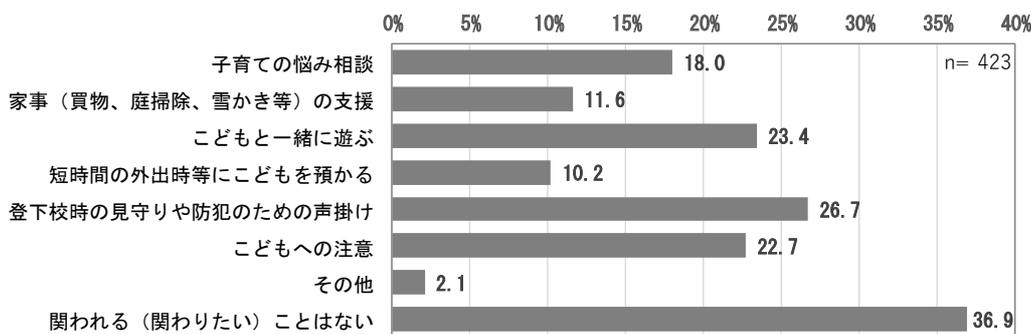
子ども・子育てに関連して地域の人とのつながりについては、特になく、無回答を除いて、「子育ての悩みを気軽に相談できる人がいる」が24.0%と最も高く、次いで「登下校時の見守りや防犯のための声掛けをしてくれる人がいる」(20.6%)、「子どもと一緒に遊んでくれる人がいる」(18.2%)となっています。



(3) 地域における子育ての関わり

問6 地域において、あなたご自身が子ども・子育てに関われる（関わりたい）ことはありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

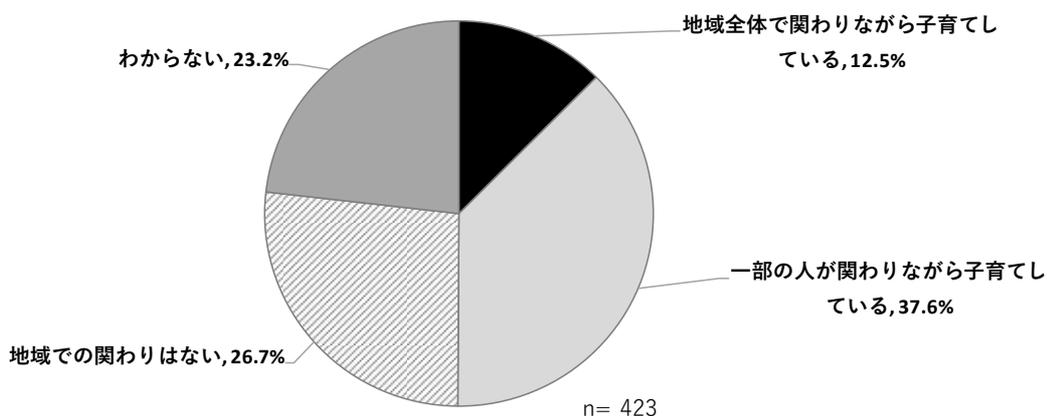
子ども・子育てに関われることについては、「関われる（関わりたい）ことはない」が36.9%と最も高く、次いで「登下校時の見守りや防犯のための声掛け」（26.7%）、「子どもと一緒に遊ぶ」（23.4%）、「子どもへの注意」（22.7%）となっています。



(4) 地域住民の子育ての関わり

問7 あなたが住んでいる地域では、地域住民みんなで子育てしていると感じますか。（○は1つ）

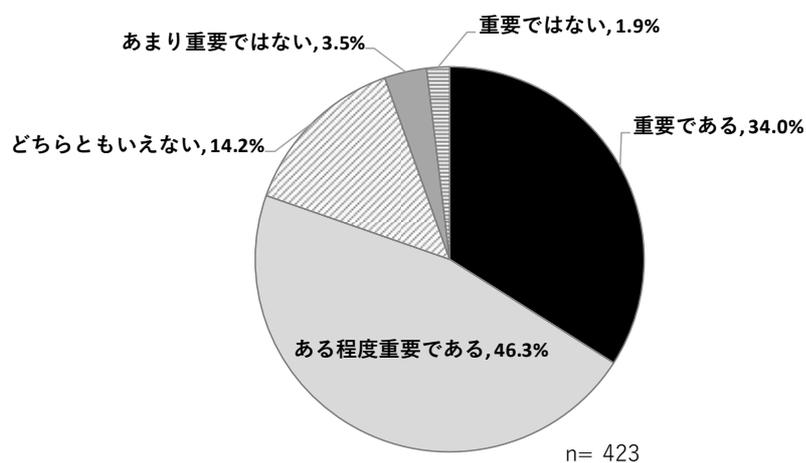
地域住民みんなで子育てしていることについては、「一部の人が関わりながら子育てしている」が37.6%と最も高く、次いで「地域での関わりはない」（26.7%）、「地域全体で関わりながら子育てしている」（12.5%）となっています。



(5) 子育てに関する地域とのつながりの重要性

問 8 こども・子育てに関して、地域とのつながりは重要だと思いますか。(○は1つ)

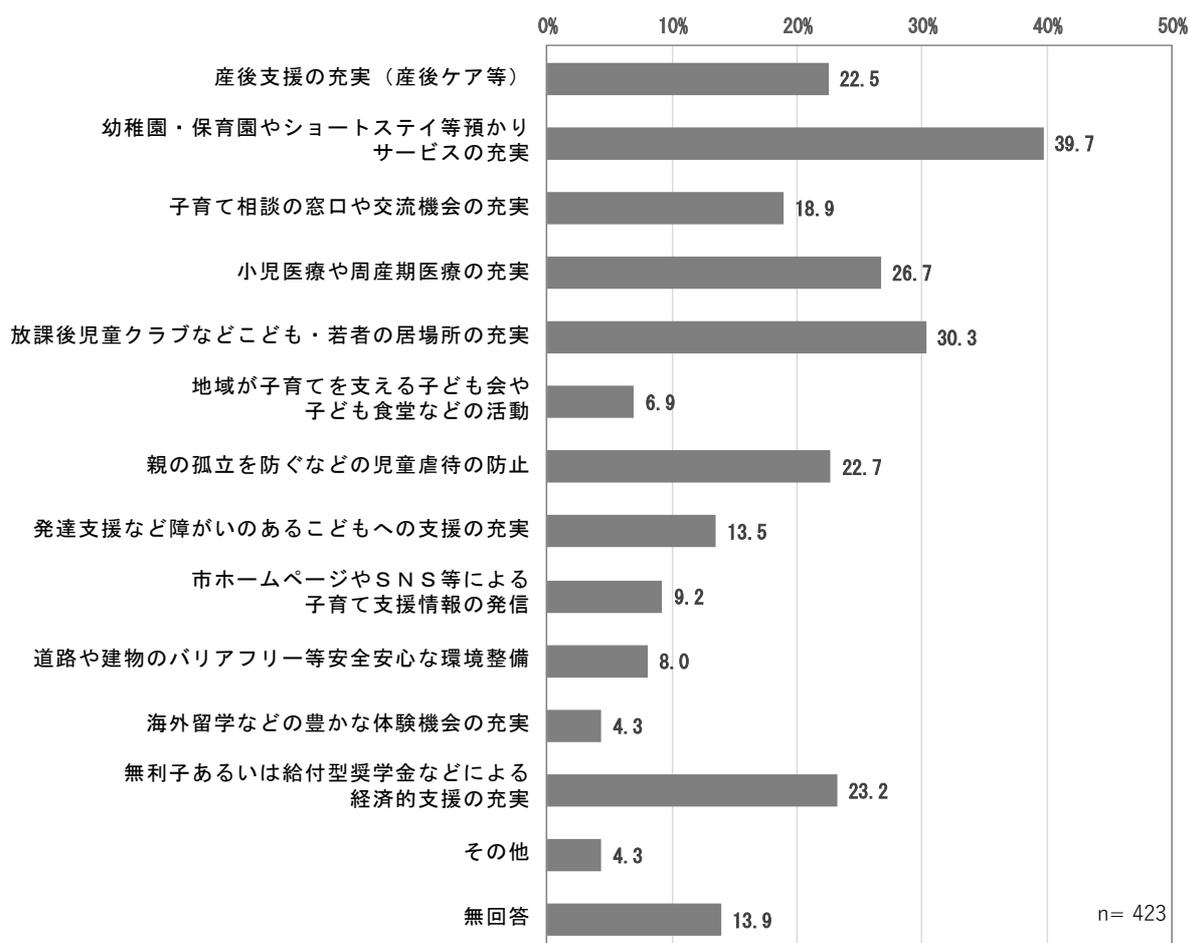
こども・子育てに関して、地域とのつながりは重要かについては、「ある程度重要である」が46.3%、「重要である」が34.0%となっています。



(6) 子育て支援の重点的な取り組み

問 9 子ども・子育て支援のために市が重点的に取り組む必要性が高いと思われるものは何だと思えますか。(〇は3つまで)

子ども・子育て支援のため市が重点的に取り組む必要性が高いものについては、「幼稚園・保育園やショートステイ等預かりサービスの充実」が39.7%と最も高く、次いで「放課後児童クラブなど子ども・若者の居場所の充実」(30.3%)、「小児医療や周産期医療の充実」(26.7%)、「無利子あるいは給付型奨学金などによる経済的支援の充実」(23.2%)となっています。



第3章 自由意見

問 10 こども・子育て支援に関して、希望やご意見等がございましたら、自由にご記入ください。

※原文まま。ただし、明らかな誤字・脱字は修正、個人を特定できるものについては削除しています。

(1) 子育て支援、相談支援について

地区	年齢	意見等
条東丁目	20歳～ 29歳	岩見沢は支援センターが広くて使いやすいです。ひなたっ子を金曜日も使わせて欲しいです。
条東丁目	20歳～ 29歳	もっと育児放棄やそういうのを徹底した方がいいと思います。ニュースなどで虐待や夜中1人でお留守番してる時の事故など沢山観ます。そういうのを無くせるよう対策をしたらいいと思います。子育て支援など物価高で辛い時もあるのでその辺も取り組んだらいいと思います。
北条丁目、有明町、元町、北本町、若松町、桜木、緑町、西川町、大願町、稔町、峰延町	30歳～ 39歳	発達障害や登校支援など様々に支援していることは承知しているが、入り口がわかりにくい。スクールカウンセラーや精神科医などから、支援につながる部分が機能していないと感じ、実際に支援を受けるまでに苦労した話や、うまくつながらず支援を受けられないでいるという話を聞く。市に相談したことがあるが、職員が勉強不足なのか、パンフレットや制度の紹介のみで、具体的な行動のアドバイスを得られなかった。
北条丁目、有明町、元町、北本町、若松町、桜木、緑町、西川町、大願町、稔町、峰延町	50歳～ 59歳	積極的に子育てのことを相談できる方ばかりではないので、地域での子育て支援の充実をはかってほしいと思います。たとえば、市の子育て支援の方々が、町内の子育て世代の保護者の集まりを企画する、年配の方と子育て世代の方の交流をする場を作るなど、もっと身近に感じられることがあるといいなと思います。ファミリーサポートでも保育サービスがどれだけ周知、認知されているかは分かりませんが、そのサービスをもっと身近で使えるといいのではないかと感じています。
並木町、緑が丘、春日町、鳩が丘、東山、駒園	50歳～ 59歳	子育て支援をいくらしても、今さらもう子どもは増えないと思う。
並木町、緑が丘、春日町、鳩が丘、東山、駒園	60歳～ 69歳	・主に小学生の運動の指導をしている立場として、現在は、個々の特徴を把握しながら指導することが必要と思う。・上手さ下手さ、勝ち負け、言うことを聞く聞かないなど子供たちにはそれぞれ個性がある。その子供たちと粘り強く、バランスの取れた考え方により指導し運動を続けることによって、お互いに影響を受け、お互いに良い方向に育っていくことが、理想的な子育て支援につながるかなと思う。・昔は、パワハラ的な指導をしても問題がなかったが、今は、運動の場に親もいることが多いので、親にも理解されるような指導をしなければならぬと感じている。
南町、美園、志文、上志文、下志文、志文本町、ふじ町、金子町	20歳～ 29歳	PT、OT、ST がいるセンターがほしい。学校にもきて欲しい。

地区	年齢	意見等
南町、美園、志文、上志文、下志文、志文本町、ふじ町、金子町	30歳～ 39歳	保育所が決まらない時期は家の近くの児童館で開かれる親子広場に助けられました。児童館を未就学児に開放する日をもっとあると助かります。

(2) 経済支援について

地区	年齢	意見等
条東丁目	30歳～ 39歳	オムツ用のゴミ袋支援だけではなく、ミルク or オムツで使えるような商品券の配布もあると子育て世代にはありがたい。
条東丁目	30歳～ 39歳	上記でも記入しましたが、子育てにはお金がかかるので、特に多子世帯には金銭的な援助をしてほしい。また、保育円・幼稚園・小中高に関わるお金も、家庭には重くのしかかるので無料化をお願いしたい
条西丁目、大和	20歳～ 29歳	何をするにしても金銭面的な問題に直面する。扶養手当も育休中は支給されないのはどうなのか。
条西丁目、大和	30歳～ 39歳	最近の物価高の影響等で、生活が苦しい子育て家庭も多いと思います。そのような中で、何か金銭的な支援を受けられたらありがたいなと思います。
条西丁目、大和	30歳～ 39歳	第3子以降は、上の子の年齢によらずに全員保育料を無償化してほしいです。第3子は年齢を離して産みたいという声をママ友からもよく聞きます。
条西丁目、大和	30歳～ 39歳	予算に余裕が絶望的にありませんが、費用対効果が高い事業を効率的に頑張ってください。
条西丁目、大和	30歳～ 39歳	第3子の児童手当増額や対象年齢の拡充など行っているのは評価すべきかとは思いますが、真に必要なのは第一子に対する金銭支援と考えている。そもそも、夫婦で一人目の子供を作ることをためらっているから出生率が低下しているのであり、そこにアプローチしない限り出生率は改善される気がしない。岩見沢市はあそびの広場など、子供がいる世帯に最適な環境は整備できているのだから、第一子ないし第二子に対する金銭的援助などを検討してほしい。
条西丁目、大和	40歳～ 49歳	札幌市や江別市でやっているような産後ケア施設への宿泊代の助成があるといいなと思います。(そもそも岩見沢市に施設そのものがないため厳しいかもしれませんが)
日の出、かえで町、若駒、栄町、東町、岡山町、宝水町	40歳～ 49歳	高校以上の学生への支援も考えていただけると、子どもを産み、育て上げる自信に繋がると思います。高卒で就職という時代ではないので… (低所得者への支援は今もあるとは思いますが)
日の出、かえで町、若駒、栄町、東町、岡山町、宝水町	50歳～ 59歳	お金と時間があれば余計なサービスやケアは必要ありません。余計な取り組みを減らしてはいかがですか。

地区	年齢	意見等
並木町、緑が丘、春日町、鳩が丘、東山、駒園	20歳～29歳	昨今、多くの給付金など子育て世帯にかかわらず経済的支援が行われていますが、低所得者ばかりで、収入の状況からぎりぎり課税になる世帯に該当する人は、給付金もなく、厳しい生活を送られているのではないかと感じました。物価高騰の影響もあり、金銭的支援が必要ではないかと考えます。
並木町、緑が丘、春日町、鳩が丘、東山、駒園	30歳～39歳	30代男です。先日子供が生まれたばかりです。近年の物価上昇、増税などで経済的余裕はほぼありません。子育てに対しても経済的不安が大部分を占めています。周りの子育て家庭からも同じ声が聞こえています。育児のやりやすい環境づくりに大変感謝しておりますが、基本的な経済支援が必要と考えます。具体的な例としては子育て用品に使える商品券などはいかがでしょうか？
並木町、緑が丘、春日町、鳩が丘、東山、駒園	30歳～39歳	育休手当を1歳までではなく、1年間にして欲しい。妻が2人目を妊娠中に切迫早産などで入院となると1人目に対して育児休暇を取らなくてはならず、1人目が2、3才だと、手当があたらず無給になってしまうから。
並木町、緑が丘、春日町、鳩が丘、東山、駒園	30歳～39歳	子供を保育園に預けています。0～3までは保育料も高く、短時間勤務では給料の半分が保育料で消えていきました。紙おむつ代も含め、かなりの経済的負担がありました。3歳をすぎると給食費も毎月4500円かかります。市の政策として、保育料を0歳からも無償化にしたり、給食費も無料にしていかなければ、岩見沢市の子供の出生率は最低のままです。改善を期待します。
並木町、緑が丘、春日町、鳩が丘、東山、駒園	30歳～39歳	乳幼児健診の回数を増やしてほしい。経済的支援もさらに充実してほしい。であえるは良い施設だと思うので、子育てに関連したお店、会社、企業を誘致してほしい。（子供用品店や写真店、体験型施設やゲームセンター等）市立病院は産期医療、新生児医療をさらに充実させ医師、看護師数を確保することで札幌、砂川に通院する妊産婦とその家族負担や不安を減らしてほしい。
南町、美園、志文、上志文、下志文、志文本町、ふじ町、金子町	30歳～39歳	赤ちゃんの預かり支援サポートセンターの利用料金をもう少し減らして欲しい。
栗沢町	40歳～49歳	大学卒業までの金銭的な支援
栗沢町	50歳～59歳	医療費無償化より給食費無償化のほうが全体にメリットがあると思う。

(3) 保育、預かりについて

地区	年齢	意見等
条西丁目、大和	30歳～39歳	子供が病気をしても、預けられる場所を知りたい。仕事を休むことができない場合があり、身内が近くにいないため、子供を見てもらえない。

地区	年齢	意見等
条西丁目、大和	70歳～ 79歳	孫を預かってくれる預かりサービス等がもう少し増えたら、働いている祖父母の負担も少なくなると思う。急に孫を預かって欲しいと言われても、祖父母も現役等で働いているので、仕事を調整したり休まねばならない。 孫なので、勿論預かってあげたいが祖父母としても出来ない時があるので、一時預かり等のサービスがもう少し増えたら良いと思う。
並木町、緑が丘、春日町、鳩が丘、東山、駒園	40歳～ 49歳	大人が子どもを預けて仕事ができる環境は整っていると思います。ただ、子どもの気持ちはどうか、親と離れて寂しいと思います。大人目線だけではなく、子ども目線での子育て支援も望みます。
南町、美園、志文、上志文、下志文、志文本町、ふじ町、金子町	30歳～ 39歳	働きながら子育てすると、子供が病気になった時頼れる人がいなくて大変。病児保育を利用しようとしても預けたことがないのに長時間預けられませんよと言われてたら、ハードルが高い。
上幌向、幌向、中幌向、御茶の水、双葉町	30歳～ 39歳	江別にある【ぼこあぼこ】のような施設（短時間子ども見守りしてくれてその間に親が買い物できるシステム）があつたら最高です。若い世代の人口増加のためにも、江別に負けない街づくりをして欲しい。

（４）児童館、放課後児童クラブについて

地区	年齢	意見等
条東丁目	40歳～ 49歳	現在小４を育てている親です。共働きのため放課後は春日児童クラブに預けているのですがそちらの職員が頼りないというか子供との接し方が不慣れなのかトラブルが多く安心して預ける事が出来ません。また些細な事でも注意を受けるので親子ともに疲弊します。子供の心が良く理解できる方の派遣を望みます。もしくは他の施設が選択できるなど対策をお願いしたいです。
条西丁目、大和	30歳～ 39歳	他から聞いた話では、児童館に子どもを預けても手のかかる子に職員の手がかかり他の子ども達を見る余裕が無い感じに思える。近年発達障害の子どもが増えているとニュース等で聞くので、職員の人数も増員した方が今後の子ども達の安心安全に繋がると思う。
条西丁目、大和	60歳～ 69歳	放課後児童クラブなど、居場所の充実が必要だが、まず環境整備ができないと始まらないし、それに関わる職員の資質も問われる。基本ができてなければ受け入れは無理ではないか。こういうことをやっています！というだけでは無意味だと思う。子どもに関わる職員の採用に疑問あり。

地区	年齢	意見等
北条丁目、有明町、元町、北本町、若松町、桜木、緑町、西川町、大願町、稔町、峰延町	30歳～ 39歳	ママ友の話の中で、学童保育の先生達の能力や人間性に差がありすぎると、いつも話題になる。信頼できる先生には文句はないが、そうでない先生は、子供が悪いことをしていても注意せず常にヘラヘラしている、自分の指示に従わない子を脚で蹴る、耳が聞こえないのか？、親と話していても何度も聞き返したり、呆れるほど話が噛み合わない、喧嘩したり泣いたりしている子の気持ちを察せれない...そんな先生が、どうやら、あちこちにたくさん勤務されているようで残念だ。変な先生がようやく転職してくれて安心していたら、後釜として他所の児童館から来た先生もまた変な人....の繰返し。市役所は「無料で預かってやっているんだから少しぐらい我慢しろ」ということか？立派な研修をしようと上司が注意しようと、本人に自覚がなければ改善はされないし、身体的障害や発達障害は、どれだけ訓練しても努力しても治るものではない。そういう子供の気持ちを察せれない人に、保育の仕事は難しいと思う。資格があれば良ってもんじゃないし、勤務年数が長ければ上手いってことでもない。その辺をよく整理してもらって、相応しくない先生には一刻でも早く退いてもらいたい。
北条丁目、有明町、元町、北本町、若松町、桜木、緑町、西川町、大願町、稔町、峰延町	30歳～ 39歳	長期休暇や土曜日の放課後児童クラブで、昼食のお弁当を注文できるようにしてほしい。共働きなので、お弁当づくりやお弁当箱を洗うのがとても負担になっている。保育園では給食があるのに、小学生になるとないので、仕事を続けるのが大変になる。
北条丁目、有明町、元町、北本町、若松町、桜木、緑町、西川町、大願町、稔町、峰延町	50歳～ 59歳	児童館の開館が8時半で、仕事のため保育園に8時前に預けていたのでかなり困った。早めに児童館に連れて行っても時間まで入れてもらえず、職員には怒られ大変でした。児童館が学校から遠いのも心配の種でした。
並木町、緑が丘、春日町、鳩が丘、東山、駒園	50歳～ 59歳	学童保育施設の先生の資質にかなりの差があり、指導力のある先生に当たればラッキーだが、そうでなければ、子供等は行きたがらなくなる。子育てを支援してくれる気があるなら、誰でもいいから頭数だけ揃えるような採用の仕方ではなく、力のある先生を揃えてほしい。その為にお金が掛かるなら、利用料を徴収すれば良い。現状では「安かろう悪かろう」になっていて、安心して子供を預けられない。
並木町、緑が丘、春日町、鳩が丘、東山、駒園	50歳～ 59歳	学童保育に携わっています。最近の親御さんの共働き率は多く、学童保育に多くの子供が来ています。それ事態は問題ではなく、むしろ子供同士で過ごすのは良いと思いますが、親御さんの関心の薄さがとても気になります。仕事や家事等忙しいからか、自分の時間を優先し、子供を朝から晩まで預け、子供達の様子を伝えても反応が薄く心配になります。もっと、親と子供が一緒に出来る何かを、根詰めて働かなくても何かを考えてあげてほしいです。
北条丁目、有明町、元町、北本町、若松町、桜木、緑町、西川町、大願町、稔町、峰延町	60歳～ 69歳	児童館の1番重要な仕事は、利用する児童の安全と安心を保持することです。時代の変化と共に、児童の生活ぶりも確実に変わってきました。そのことから目を背けず、子ども未来課には責任と使命感を持って、危機管理のリーダーシップを発揮していただきたい。

(5) あそび場について

地区	年齢	意見等
条西丁目、大和	30歳～ 39歳	本州から3ヶ月前に引っ越してきました。であえるの遊び場、支援センターをよく利用してとてもよい施設だと思います。このような取り組みが増えるといいと思います。
南町、美園、志文、上志文、下志文、志文本町、ふじ町、金子町	30歳～ 39歳	こどもの遊び場を増やして欲しいです
上幌向、幌向、中幌向、御茶の水、双葉町	30歳～ 39歳	子どもを連れて遊びに行ける場所があるといい。たとえば南幌町の「はれっば」や、札幌市西区の「農試公園」のような場所。であえるは立体駐車場が狭く、また街なかにあるため車移動ではアクセスしにくい。
上幌向、幌向、中幌向、御茶の水、双葉町	20歳～ 29歳	遊ぶ場所増やして欲しい
上幌向、幌向、中幌向、御茶の水、双葉町	30歳～ 39歳	いわみざわ公園へ遊びに行く機会がありますが、それより遠くにある栗山公園へ行く機会の方が多くあります。たしかにいわみざわ公園の方が優れている点(遊具、ドッグラン)はありますが、飲食関係は圧倒的に栗山公園の方が優に子どもと一緒に楽しむことを考えると、休憩としてアイスなどを食べて、昼ごはんはラーメンやカレー、コンビニがある栗山公園を選びます。いわみざわ公園内にキッチンカーなど呼ぶイベントがあれば、たくさんの来場が期待できるのではないのでしょうか。

(6) 学校、教育支援について

地区	年齢	意見等
並木町、緑が丘、春日町、鳩が丘、東山、駒園	50歳～ 59歳	不登校支援対策の強化を希望します。多様な学びが出来る環境の整備が必要です。不登校の子どもに、学びの環境のサポートをして下さい。具体的に、不登校だが、塾には通い勉強している場合、不登校対応している塾に、補助金を支給する。
南町、美園、志文、上志文、下志文、志文本町、ふじ町、金子町	30歳～ 39歳	人口を考えても、養護学校が必要です。子供に障がいがありますが、転出か入所しか選択肢がありません。

(7) 体験活動、体験機会について

地区	年齢	意見等
並木町、緑が丘、春日町、鳩が丘、東山、駒園	30歳～39歳	問9の海外留学だけでなく、海外から岩見沢市に来られた方との交流などの参加しやすい体験機会が増えてほしいです。現在、私は小学生と保育園児を育てていますが、この子たちが大人になる頃には日本の人口が更に減り、海外の方向けサービスや商品を提供できないと十分な収入が得られないと考えています。そのため、英語などの外国語を使ってコミュニケーションがとりたくなるきっかけが増えてほしいと思います。また、市政の観点からは、そのような体験機会が充実している市ということが強みとなれば、更なる子育て世帯の流入の一助になるのではと思います。
並木町、緑が丘、春日町、鳩が丘、東山、駒園	40歳～49歳	問9について「海外留学などの豊かな体験機会の充実」にチェックしましたが、海外留学ほどの大きな体験でなくとも、市内や近郊における体験ツアーなどが充実していると良いと思います。気軽に参加しやすいことが重要と考えます。

(8) 地域との関わりについて

地区	年齢	意見等
北条丁目、有明町、元町、北本町、若松町、桜木、緑町、西川町、大願町、稔町、峰延町	50歳～59歳	問5について子どもへの注意について 注意したことが子どもの保護者にとっては世代により、受け取り方が非常に難しい世代でもあったり、他人が子どもの問題や家庭の事でその中に入り込む難しさもあると思います。良かれと思いついたことが裏目に出た時の難しさ、親の解釈の仕方が世代で随分と違うと感じます。支援する側、支援を求める保護者側の小規模な意見交換会などがあっても良いのではないのでしょうか？支援従事者の大変さ、保護者の大変さをそれぞれに尊重しあわないといけません。
日の出、かえで町、若駒、栄町、東町、岡山町、宝水町	60歳～69歳	高齢者の仲間入りをしているが、少子化で、子供会活動など、子供とのかわりが、自分の孫意外、ほぼ無い状態のため、自分に何ができるかが、わからない。子供達が求めるものと、高齢者ができることとのギャップなどもわからず、自から起こせることもないので、そのあたりの企画、提案などがあれば、良いのでは…とも思います。
日の出、かえで町、若駒、栄町、東町、岡山町、宝水町	60歳～69歳	昔は地域で子供と関わっていましたが今はそれを好まない人が多いと感じます。何か困っていたら助けてあげたいと思う反面、変なことに巻き込まれそうで関わらない方が安全なのも今の時代。
並木町、緑が丘、春日町、鳩が丘、東山、駒園	30歳～39歳	20～30年以前は、地域の町会・自治会において、子どもを主役とした行事が盛んであったと感じていますが、役員の高齢化と町会加入率の低下が相まって、現在は地域ぐるみの活動が少なくなっています。何かの改善が必要と考えます。
並木町、緑が丘、春日町、鳩が丘、東山、駒園	60歳～69歳	ひとたび事が起きると、学校が、親が、と大騒ぎになるが、地域でできることはなかったか、関われることはなかったのか、サインは出ていなかったのかなど、地域でできることはたくさんあると思う。親、学校、地域が協力して子育てをし、そのような意識の醸成が必要。

(9) 全体的な意見

地区	年齢	意見等
条西丁目、大和	50歳～ 59歳	自ら児童を虐める民度の低い教師が一部いる小学校。学力の低い生徒に合わせて指導する中学校。公共交通機関の減少などで、通学するにも親の送迎が必要な高校。小さい子供のうちはいいんです。保育園も幼稚園も小児科もそこそこありますから。問題はその後。子育てって子供が独り立ちするまでなんです。それに求人が非正規や最低賃金ばかりってどうなんでしょう？？仕事があれば若い人は出てしまうと思います。
北条丁目、有明町、元町、北本町、若松町、桜木、緑町、西川町、大願町、稔町、峰延町	30歳～ 39歳	学校給食を岩見沢産の有機米や有機野菜で作ってほしい。千葉県いすみ市のように市全体で取り組んでほしい。タブレット端末の学習をやめて欲しい。視力の低下が心配です。
北条丁目、有明町、元町、北本町、若松町、桜木、緑町、西川町、大願町、稔町、峰延町	30歳～ 39歳	子育て支援を最優先にして考え、施設なども子ども優先。地域のもう働くほど体力がないお爺ちゃんおばあちゃんがお子さまを少しの間だけ見てる施設。そういうのを充実させることで村に人口が増えた例はニュースなどでもやっています。今後の岩見沢の為にも子どもの今と未来を守るためにもどうか優先して考えて頂けると嬉しいです。ゆくゆくは「だから岩見沢に住みたいんだ！」と言われるような場所にして欲しい。
日の出、かえで町、若駒、栄町、東町、岡山町、宝水町	30歳～ 39歳	・登下校時など、こどもの見守りシステム（防犯や事故防止）を地域で工夫してやっていただけると嬉しい。・岩見沢で出産ができる病院が市立病院のみになり、今後岩見沢で子どもを産み、育てるということを不安に感じる人も多いと思う。岩見沢市に産科を増やすことが不可能であれば、他市の病院であっても交通費の負担など少しでも安心して受診できる仕組みがあれば助かる人はいると思う。
並木町、緑が丘、春日町、鳩が丘、東山、駒園	40歳～ 49歳	現在、2人の子育て中です。令和5年10月からの子どもの医療費助成の対象拡大は、非常に助かります。他の市町村と比較しながら、子育て支援に力を入れている市町村に移住を検討する等、一般庶民のレベルでは子育てのしやすさで住む場所を決めることはごく当たり前の時代だと感じます。町会等地域内における人的なサポートも大事なことだとは思いますが、現代、特に20代の若い子育て世代にどの程度のニーズがあるのでしょうか。双方にメリットを実感できなければ、他者に子育ての相談や支援を依頼することは稀ではないでしょうか。実質賃金がもう25ヶ月連続してマイナスで推移している中、医療助成の対象拡大のような経済的な支援こそ、子育て世帯が心底期待している子育て支援ではないでしょうか。 また、市道の補修や整備についてもお願いしたいです。大きく陥没していたり、隆起沈降でアスファルトが波打っていたり、表面がボロボロに剥がれている市道が近所に目立ちます。小学校から700m程の地域なのですが、毎朝、児童が登校している姿を見る度に心配になります。財政的な課題もあるとは思いますが、小学校から1km範囲の通学路は優先に補修していただけないでしょうか。
並木町、緑が丘、春日町、鳩が丘、東山、駒園	60歳～ 69歳	子育て中の方が、困っていることや、必要と感ずるもの（お金、介助、メンタルケアなど）をタイムリーに援助できるような仕組みがあればいいと思います。

地区	年齢	意見等
南町、美園、志文、上志文、下志文、志文本町、ふじ町、金子町	30歳～ 39歳	今年度第二子を出産しました。妊婦健診の際の超音波検査の助成券が健診の回数分より少なく途中から自費負担となりそれなりの出費だったので、妊婦健診と同じ回数分だけ助成して欲しいです。産後ケアの一環として、助産師や看護師が常駐している施設でのデイケアや宿泊型の産後ケアの整備を希望します。産後ヘルパー事業も利用していますが自宅にいても家事に追われて休めないで、それならケアの体制が整っている施設でお世話になった方が家事のことを気にせず休めるので。市内の認可保育園の定員数のバランスも見直して欲しいです。(ほとんどが法人運営なので市の介入が難しいのは重々承知していますが…)なるべく自宅から近い保育園に預けても市中心部(中央、西、美園など)に希望者が多く、点数が低いと自宅からも職場からも遠い空きのある保育園や幼稚園に預けなければいけないのが現状です。
上幌向、幌向、中幌向、御茶の水、双葉町	30歳～ 39歳	病児保育の充実。人数に限られるので必要なときに預けられないことの方が多かった。散歩中にベビーカーで歩道を歩くのがむずかしく車道の端を歩くのが怖いことがある。

(10) その他の意見

地区	年齢	意見等
条東丁目	30歳～ 39歳	夫婦のうち一人の収入で、子育てが出来るだけの給料の改善を行い、子の育児に専念できる専業主婦(主夫)を増やす取り組みにより、地域で子育てをする余裕が生まれると考える。今の状況では、一人の収入では足りないため共働きとなり、育児に専念できる余裕がなく、地域貢献もできない。
条東丁目	40歳～ 49歳	子育てが重荷に感じてしまうと、誰も子を持たず。人口減少の一途を辿る。今がそうでは？
条東丁目	50歳～ 59歳	岩見沢市は十分取り組んでいると思う。
条西丁目、大和	50歳～ 59歳	支援は必要だと思いますが、過剰すぎる支援は不必要だと思います。
北条丁目、有明町、元町、北本町、若松町、桜木、緑町、西川町、大願町、稔町、峰延町	30歳～ 39歳	岩見沢を子育てに魅力的な町にするために、非常にハードルが高く、反発も大きいと予想される提案をします。岩見沢を有機農業の町にするのです。今は、一部の人だけが頑張っている有機農業を市で応援します。具体的には、給料保障や補助金です。岩見沢全体が有機農業を推進する事で、岩見沢産の農産物が強いブランドになるでしょう。これは、全国で一番初めにやらなければ意味がありません。子育て世代にも魅力的な町になるでしょう。まずは給食の材料を岩見沢の有機野菜や米に切り替えていくところからスタートしてみたいかがでしょうか？これには千葉県いすみ市の先行事例があり、大いに参考になるでしょう。
北条丁目、有明町、元町、北本町、若松町、桜木、緑町、西川町、大願町、稔町、峰延町	60歳～ 69歳	子育ては、負担だ負担だと言う発想が勝ちすぎていると思います。子育て支援の施策が親の子育て放棄(ネグレクト)を誘発していると強く感じます。子育てが人として生きていく上で、最大の喜びであると感じられるサポートを考えることが急務だと思います。

地区	年齢	意見等
並木町、緑が丘、春日町、鳩が丘、東山、駒園	30歳～ 39歳	支援があることをもっと知ることができるよう、幅広い広報があるといいと思う。
並木町、緑が丘、春日町、鳩が丘、東山、駒園	50歳～ 59歳	子育てが終わっているが、最近では、少子化対策としていろいろなことを行っているが、子育てが終わっている世帯との格差が大き過ぎるか考える。
南町、美園、志文、上志文、下志文、志文本町、ふじ町、金子町	20歳～ 29歳	正直、子どもを産まない夫婦や晩婚化による出生率の低下は、不景気や、国、自治体含めて高齢者支援施策にばかり力を入れている現状からくる18～39歳程度の世代の収入減が大きき要因となっていると感じます。そのあたりを補助しなければ、子育て以前の問題かと。
南町、美園、志文、上志文、下志文、志文本町、ふじ町、金子町	20歳～ 29歳	子ども・子育て支援 岩見沢市として取り組みをしているのは、とても良い事だとは思いますが。支援してもらえたほうが、子どもを持つ保護者の方、共働きで子どもを見るのが難しい方、ひとり親家庭の方、少しは自由に働くでき、助かるとは思いますが、その分職員に負担がかかると思っています。地域によって異なるとは思いますが、保育園 幼稚園 児童館クラブ 放課後児童デイサービスなど、来る子どもの数が多いほど、職員が少ないと負担を感じます。そして、職員の方の補助が必要な子たちがいる場所 職員が少ないと負担がかかります。今は人手不足なところが多く、難しいことだとは思いますが、もう少し人手が増えると、職員のほうも安心して、子どもを預かることができるのかなと思います。
南町、美園、志文、上志文、下志文、志文本町、ふじ町、金子町	30歳～ 39歳	子育てをしても仕事のあつ旋がほしいです。
上幌向、幌向、中幌向、御茶の水、双葉町	30歳～ 39歳	これからもより良く子どもが過ごせるような環境が増えていくといいなと思います。
北村	50歳～ 59歳	若い世代が結婚して、岩見沢に住みたいと思える施策が必要

岩見沢市こども計画策定のための
こども・子育て一般市民調査
結果報告書

発行日：令和6（2024）年9月

発行：岩見沢市

編集：岩見沢市 健康福祉部 こども未来課 こども・子育て応援係

〒068-0024 岩見沢市4条西3丁目1番地

であえーる岩見沢3階

TEL 0126-35-5133

FAX 0126-25-8833
